

1 基本情報

施設名称	大阪市立天王寺区老人福祉センター
施設所管課・担当	福祉局高齢者施策部高齢福祉課（電話：06-6208-8054）
条例上の設置目的	高齢者に関する各種の相談に応じ、高齢者に対して、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与するとともに、高齢者の地域福祉活動を支援することを目的とする。
業務の概要	高齢者の生活に関する相談・高齢者の健康の増進及び地域福祉活動に関する情報の収集及び提供・講演会、講習会及び教養講座の開催・高齢者のレクリエーション活動の機会の提供・高齢者の地域福祉活動その他自主的活動の支援。
成果指標	①センター利用者向け実施する満足度調査で、「満足（やや満足）と回答される方」の割合 ②センターの延べ利用人数 令和2年度～令和4年度の年間利用人数の平均以上 ③センターの登録人数 令和2年度～令和4年度の年間登録人数の平均以上
数値目標	①85.6%以上(26ある老人福祉センターで実施(令和2年度～令和4年度)したアンケートの平均) ②17,635人以上（当センターの令和2年度～令和4年度の年間利用人数の平均） ③256人以上（当センターの令和2年度～令和4年度の年間登録人数の平均）
指定管理者名	社会福祉法人大阪市天王寺区社会福祉協議会
指定期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日
評価対象期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	満足（やや満足）と回答される方の割合	センターの延べ利用人数	センターの登録人数
数値目標	85.6%	17,635	256
年度実績	96.0%	22,500	297
達成率	112.2%	127.6%	116.0%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	22,500	17,612	4,888

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	17,582,000	17,697,000	0	－
	計画	17,582,000	17,630,000		
利用料金収入	実績	0	0	0	－
	計画	0	0		
その他収入 （自主事業収入）	実績	1,620	0	1,620	－
	計画	0	0		
合計	実績	17,583,620	17,697,000	1,620	－
	計画	17,582,000	17,630,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	12,882,245	12,916,074	-547,755	－
	計画	13,430,000	13,278,000		
物件費	実績	4,349,659	4,207,945	197,659	－
	計画	4,152,000	4,352,000		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	0	0	0	－
	計画	0	0		
合計	実績	17,231,904	17,124,019	-350,096	－
	計画	17,582,000	17,630,000		

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
アンケート調査で「満足（やや満足）と回答される方」の割合	112.2%	A	講座・イベントなどの定員数を増やしたり、男性利用者の増加に向けた取り組みを実施したり等、工夫しながら実施していく中で、本市が定める水準を超える成果があった。
センターの延べ利用人数	127.6%	S	講座・イベントなどの定員数を増やしたり、男性利用者の増加に向けた取り組みを実施したり等、工夫しながら実施していく中で、本市が定める水準を大幅に超える成果があった。
センターの登録人数	116.0%	A	講座・イベントなどの定員数を増やしたり、男性利用者の増加に向けた取り組みを実施したり等、工夫しながら実施していく中で、本市が定める水準を超える成果があった。

（2）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・比較見積調達による経費節減。 ・指定管理者で修繕可能な場合は自主修繕。	B	物品購入や工事依頼時における比較見積を徹底して取り組むなど、市費の縮減に努めた。

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	・建築物や設備の法定点検を適切に行っている。 ・併設施設の連携して利用者も参加してもらう消防避難訓練を複数回実施することにより利用者の安全管理を図っている。
事業計画の実施状況	B	・アウトリーチとして区内全地域会館で実施される「いきいき広場」に参加したり、「セカンドライフを考える会」において利用者が主体性を発揮しボランティア活動の担い手として活動いただけるよう、区社会福祉協議会とともに支援していたりなど工夫しながらセンター運営に努めている。
施設の有効利用	B	・天王寺区社会福祉施設連絡会の運営委員として他の施設と連携し交流会の実施や学習会や防災活動等に参画するなど地域関係団体等と連携している。
社会的責任・市の施策との整合性	B	・個人情報の収集・保管は必要最小限にするとともに、パソコンのID及びパスワードを定期的に変更するなど、個人情報の保護を行っている。 ・環境保護対策として、自主修繕を行うなど実効性のある取組を行っている。

5 利用者ニーズ・満足度等

(1) 調査方法 センター利用者に対してアンケート調査を実施
(2) 回答者228人（未記入者含む）
(3) 質問項目 ア 基本的な事項（年齢、居住区等） イ 満足度 ウ 電子機器等で学びたい内容、やりたい活動
(4) 結果 ・総合満足度において、満足（やや満足）と回答される方が96.0%となっており、利用者の満足度は非常に高い。

6 外部専門家意見

1.事業報告書は、PDCAに沿った形で、事業計画書と同じ番号を附番し、整合性を図って記載していただきたい。
2.ICT化を進める中で、LINEの利用や、センターだよりにQRコードを掲載し、ホームページがすぐに見られるようにするなど、工夫していただきたい。
3.アウトリーチの取り組みとして「いきいき広場」は、評価できる。更なる継続・発展を図っていただきたい。
4.ボランティア活動としての「セカンドライフを考える会」の取り組みは、全くの0から発展し、男性利用者の増加に向けた取り組みの企画・提案のみならず、ボランティア活動へも発展しており評価できる。
5.全体として、魅力ある取り組みを展開されていることは、人と人の繋がりに発展していると考えられるため、この繋がりを利用者のみならず、地域全体に発展し、小さなことでもなんでも相談できるような広がりを追及していただきたい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	講座・イベントなどの定員数の増加や、男性利用者向けの取り組みを実施、アンケートに開催希望のあった講座等の開催や、参加率が低い講座の整理等、工夫しながら実施することで、事前に設定した目標を達成した。
管理経費・市費の縮減	B	事業計画に基づき、効率的に運営した。
管理運営の履行状況	B	利用者がセンターを生きがいと健康づくり・仲間づくり・社会参加と地域活動の拠点として位置づけてもらうために、A～Eの5つの取り組みを中心に運営を行った。 地域の高齢者のニーズを把握し、事業反映させ(A)、生きがいづくり、介護・認知予防、及び健康づくりの支援を行い(B・C)、社会的孤立の解消と仲間づくりの支援をし(D)、他の組織と連携・協働して地域貢献を行った(E)。 障がいの有無や国籍に関わらず、高齢者の誰もが平等にセンターを利用できるようにするため、天王寺区身体障がい者団体協議会の定例会支援や、国籍にとらわれず、センターを利用できる環境整備を整えるため、大阪国際交流センターと連携を行った。 講習会・イベントの実施時には、アンケート調査を行い、参加者の講座内容の満足度や感想、希望する講座等、利用者ニーズの把握に努めた。
総合評価	B	本市が期待する管理運営を行った。